



第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師
 プレイズ：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		会衆	
プレイズ	「アルファでオメガ」 「キリストには 代えられません」	会衆	
聖書朗読	マタイ9：9-13 (新約聖書 p15)	司会	
祈賛美	新生14	司会	
メッセージ	「わたしに従いなさい」	会衆	
祈賛美	新生621	牧師	
成人祝福式		牧師	
献金		会衆	
報告		司会	
頌栄	新生672b	司会	
祈		会衆	



第二礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師
 司会：渡真利彦文牧師

メッセージ：「命じたすべてのこと」
 聖書：マタイ28:16～20
 (新約聖書 p.60)
 プレイズ：「心に感謝を持ちながら」
 「主を待ち望む者は」
 賛美：讚美歌310 讚美歌354



ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利千佳子姉
 聖書：ルカ4：1～13
 メッセージ：「荒れ野の試み」

<巻頭言>

「子どもが真ん中」

牧師 渡真利彦文

新年を迎えましたが、みなさんはこの一年間をどう歩んでいきたいですか。

一年の目標を考えるこの最初の時、イエス様の言葉から、イエス様が何を大切にされていたのか、そして私たちは何を大切にしていったらよいのかを考えてみましょう。

「そこで、イエスは一人の子どもを呼び寄せ、彼らの中に立たせて」

(マタイ18:2)

このみことばは、とても象徴深いことを話していると思います。教会にとって子どもたちの存在こそが真ん中だということです。私たちの教会では、子どもたちはどこにいますか。教会のプログラムの中で、人々の関心の中で、子どもの存在は真ん中でしょうか。それとも隅に追いやられているでしょうか。子どものための働きは、教会の一部の人の働きとされていないでしょうか。

「イエスに触れていただくために、人々が子どもたちを連れてきた。弟子たちはこの人々を叱った。しかしイエスはこれを見て憤り、弟子たちに言われた。『子どもたちをわたしの所に来させなさい。妨げてはならない。神の国はこのような者たちのものである。はっきりしておく。子どものように神の国を受け入れる人でなければ、決してそこに入ることはできない。』そして、子どもたちを抱き上げ、手を置いて祝福された。」(マルコ10:13-16)

「来させなさい。妨げてはならない」。これは、主イエスの私たちに対するみこころであり、命令であり、召しでもあるのです。